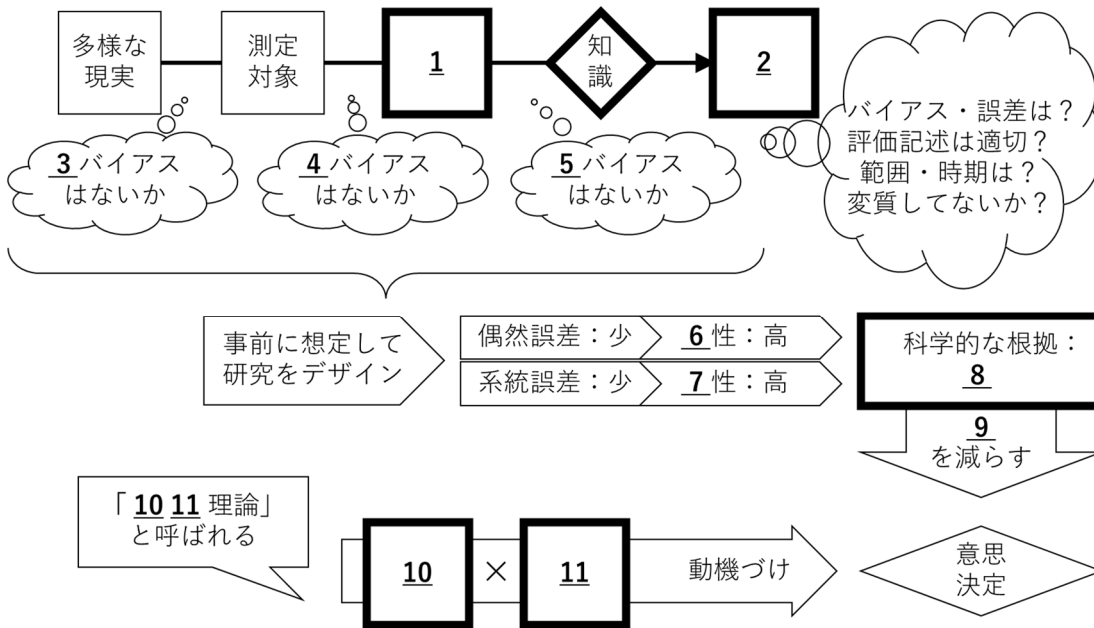


別途用意された語群を参照し、各問に答えてください。

1. 以下の図中の数字にあてはまる言葉を入れてください。



解答欄：

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

2. 以下の文章中の【数字】にあてはまる言葉を入れてください。

2-1) 二重過程理論によれば、人間には2種類の思考（論理的 or 感情的）がある。感情的な思考のうち、【1】は簡便な思考方法のことを指す。こうした思考は認知負荷が高い場合に採用される傾向があり、例えば、すでに知っているものかどうかを基準に判断をしてしまう【2】、限定的な事例を全体のこととして捉えてしまう【3】、思い起こしやすさが影響する【4】、判断の基準が事前情報に引きずられる【5】がある。（解答欄：

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

2-2) 他者に要望を伝える際は、あえて目標とは異なる行動を相手に一度とらせる【1】をとることがある。徐々に要請する内容を増やしていく【2】や、逆に減らしていく【3】、さらに好条件を完全になくしてしまう【4】などがある。（解答欄：

1	2	3	4
---	---	---	---

2-3) コミュニケーションにおいては、【1】が生じることで意図とは別に伝わってしまう【2】に注意する必要がある。相手の態度変容を求める場合には、建設的な姿勢を心掛けること：【3】を忘れず、お互いの前提をふまえたうえで相手に伝わるコミュニケーションを図ることが特に求められる。（解答欄：

1	2	3
---	---	---

2-4) 市民のリスク認知は主に、対象への【1】と【2】（馴染みの無さ）が影響するとされる。また、【3】性・【4】感が高い場合に危険性を少なく見積もる傾向があることも知られている。そこで、専門家は市民のリスク認知を正確にしようと知識を提供することが多くあるが、専門家の知識が絶対的なものではないことに注意が必要である。加えて、利害関係者間で対話を進める【5】においては、あくまで課題解決を手助けする立場として、それぞれの【6】や【7】を形成していく活動が求められる。（解答欄：

1	2	3	4	5	6	7
---	---	---	---	---	---	---

2-5) 医療の質を改善するために用いられる【1】では、【2】→【3】→【4】の各段階に分けて、情報を分類・整理する。また、医療消費者の抱える状況を整理する観点としては、身体・精神・行動・社会の4種類に整理する方法や、それら全体を統合する【5】な視点、生きる意味や目的を重視する【6】な視点などがある。(解答欄：

1	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---

2-6) 医療消費者には自身の情報について「知る権利」と「知られたくない権利」がある。後者は【1】の根拠となり、収集したデータを【2】する場合にも本人の同意と倫理委員会の承認が必要になる。また、【3】(モラルハザード)を防ぐため、医療倫理の原則として、患者の自立的な決定を促す【4】・患者の利益を優先する【5】、危害を与えない【6】、社会的利益と負担の分配を考える【7】が提唱されている。これらの意思は自己決定を重視する【8】宣言や研究倫理を規定する【9】宣言にも表れている。日本看護協会も看護倫理として、看護提供に際して守られるべき【10】・【11】、責任を果たすための【12】、【13】と【14】について、それぞれ指針をまとめている。(解答欄：

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14

2-7) ヘルスプロモーションは、【1】憲章(1986)および【2】憲章(2005)によれば、「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」とされている。個人習慣づくりと社会の環境づくりの両面からアプローチする活動であり、日本では法整備も含めた国家的な運動として【3】が進められてきた。こうした運動のなかで、政治的・社会的・経済的な問題によって生じる【4】が問題となっている。また、【5】も問題となっており、正しい情報に触れる機会をどう増やすかが課題である。(解答欄：

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

2-8) 災害とは、危険なモノ・コト(Hazard)が、社会の持つ【1】(vulnerability)を突いたとき、結果として被害が生じるものを言う。災害に関する情報は【2】→【3】→【4】のサイクルの各段階に整理できる。また、洪水発生時などの【5】や事前に配布される【6】など、危機や脆弱性に関する情報源を活用することで災害への対策・対処をより効果的に行える。ただし、直下型地震における【7】のように情報伝達が間に合わないケースや、予測が外れるケースもある。適切な行動選択をするためには事前の対策・訓練が重要だといえる。また、災害などに関連して起こる被害のひとつに【8】がある。この被害は風化しづらい側面があるが、これを無理に抑制しようとする、逆に被害が強化されてしまう【9】が起きることが懸念される。こうした状況では、全く別の視点で価値を示すことで再評価してもらうといったアプローチが有効だと考えられている。(解答欄：

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---